



【令和 7 年度の教育課程について】

【学校教育目標】

たくましい力と英知をもった実践力のある人間の育成

高き理想 つよきからだ 純なこころ

【本年度の経営方針】

「東月で学んでよかった」と実感できる学校づくり

- 生徒が生き生きと自ら進んで学び、学ぶ喜びを感受できる学校づくり
- 生徒が自らの健康や体力の向上に関心をもち、活気に溢れた学校づくり
- 生徒の声が届き、生徒が大切にされ、安心・安全で潤いに満ちた学校づくり
- 生徒・保護者・地域、そして教職員が信頼関係で結ばれた学校づくり

①週あたりの授業時数と時間割

	国	社	数	理	音	美	保健	技家	英	道	学	総合
1 年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.5
2 年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2
3 年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2

週あたりの授業時数は、昨年度と変わりません。基本的に月～木が6時間日課、金曜日が5時間日課になります。

時間割は今年度も三期制です。A 期(10 週)、B 期(15 週)、C 期(10 週)となります。

日課に変更があります。帰り学活が7分に短縮されている等です。御確認ください。

		月	火	水	木	金
朝	8:15～8:25	生徒登校				
	8:25～8:35	朝読書				
	8:35～8:42	朝学活				
1	8:50～9:40	*	*	*	*	*
2	9:50～10:40	*	*	*	*	*
3	10:50～11:40	*	*	*	*	*
4	11:50～12:40	*	*	*	*	*
昼	12:40～12:55	教室移動・給食準備				
	12:55～13:15	給食				
	13:15～13:35	昼休み				
5	13:35～14:25	*	*	*	*	*
6	14:35～15:25	*	*	*	*	学活 14:30～ 14:37
帰り	15:30～15:37	帰り学活				
	15:37～15:52	清掃				清掃 14:37～ 14:52

※次の表は、期間別の週授業時数です。

1 年生	国	社	数	理	音	美	保健	技家	英	道	学	総合	合計
A 期					1.5	1.5						1	29
B 期	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	2	29
C 期					1.5	1.5						1	29
2 年生	国	社	数	理	音	美	保健	技家	英	道	学	総合	合計
A 期													29
B 期	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
C 期													29
3 年生	国	社	数	理	音	美	保健	技家	英	道	学	総合	合計
A 期													29
B 期	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29
C 期													29

②評価評定、定期テスト

全教科、二期制となります。通知表は、10 月と学年末にお渡しします。

昨年度から定期テストは2回となりました。技能教科は技術・家庭のみの実施となります。5教科は 100 点満点で、時間は 45 分間、技術・家庭は 50 点満点で時間は 35 分間です。また3学年後期定期テストの実施日を 12 月に変更しました。

実施テスト	実施日	実施教科	点数	解答時間
前期期末テスト	8/28・29	5教科 技家	100点 50点	45分 35分
3年後期定期テスト	12/11・12	技家 5教科	50点 100点	35分 45分
1・2年後期定期テスト	2/12・13	5教科 技家	100点 50点	45分 35分

③通年の読書

朝学活前の 10 分間の朝読書ですがシャボテンログの入力があるため 8:28～8:35 の7分間を、全員が一斉に読書する時間とします。読書習慣を身に付ける中で語彙力を高め、さらに落ち着いた学習習慣を確立する一助になればと考えています。本の準備をお願いいたします。

〈「学ぶ力」の育成に向けて〉

本校では具体的な改善策として次のようなことに取り組めます。

- 少人数の話し合い活動を取り入れた授業づくりおよび指導の充実
- 教科等横断的な取組
- 振り返りシートを活用し、何が課題なのかを明らかにするとともに個々に目標をもたせる
- 校内研修の推進（課題解決的な学習活動を取り入れた授業の工夫改善）
- AARサイクルを活用した授業づくりと授業の振り返り（教師側）
- 各授業における目標の設定と定着を図り、伸ばすための指導方法の確立
- IT および習熟度別授業の有効活用
- テスト前学習会を行い、学力の向上に努める。
- 教育相談アンケートおよび学期ごとの教育相談の実施
- 小中一貫した学びを推し進める（小中一貫したつながりのススメ）
- ICTを活用した学びの力の育成（ICT 活用のススメ）
- 家庭との連携「まほうのかいわ」（さっぽろっ子学びのススメ）
- 三つのススメをPTA 集会などで活用
- 学ぶ力育成プログラムとしてHPに掲載しております

〈「健やかな体」の育成に向けて〉

全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、札幌の子どもの1週間の運動時間は増加傾向にありますが、全国平均と比べ、1時間以内の子どもが多いことや、冬期間の運動不足の解消に向けて、本校でも体力向上に向けた取組を進めています。

札幌市の推奨している「雪かきチョボラ」の取組の実施、スキー学習（クロスカントリー）の継続、体育授業時の体力づくり運動の充実、また、運動の記録を取り、自己評価することなどを継続して行います。

尚、健やかな体育プログラムとしてHPにも掲載しております

〈指導方法工夫改善の授業について〉

数学科、英語科で実施いたします。

2人の先生によるTT（チームティーチング）等を行うことで、学習の充実を図ります。これらの取組を通して、少しでも数学や英語に興味・関心をもち、「学ぶ意欲」の向上につながっていくことを期待しています。

〈いじめ対策について〉

「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ事案の未然防止と早期解決に向けて、いじめ防止対策委員会で協議し、組織的に対応しています。必要に応じて、養護教諭やスクールカウンセラー、相談支援パートナー、さらに外部機関関係者にも参加していただいています。保護者とも情報を共有し、早期解決を目指します。学校で犯罪行為として取り扱うべきいじめ行為が発生した際は、命や安全を守ることを最優先に、関係法令に基づいて警察と連携して対応することになっております。詳細は学校 HP に掲載しております。御覧ください。

〈インクルーシブ教育について〉

インクルーシブ教育とは、障がいのある子ども、障がいのない子どもがともに学ぶ教育システムのことです。一昨年度から本校でも実施しています。特別支援学級の生徒が通常学級の授業に入ったり、特別支援学級の先生と通常学級の先生が交流したり相互に授業をするなどの取組を計画しています。

〈S タイム(ショートタイム)、3F デイについて〉

S タイムの日は生徒の放課後活動時間を確保するために

特別日課を実施します。全協や常局会、諸会議のある日等に設定します。昼休みに、帰りの会を行い、放課後の活動開始が 15:35(14:40)からとなります。行事予定表に「S タイム」と記載されます。

3F デイは部活動も含めて放課後活動を行いません。趣味や、家族の時間等を大切にしている日としています。

Freedom Friend Family の3つのFから3F デイとしました。

〈キャリアパスポートについて〉

キャリア教育の一環で、例年実施しております。自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオのことです。キャリアパスポートファイルに諸活動のプリントをまとめ、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動です。

〈生活リズムチェックシート(手帳)の活用について〉

北海道教育委員会が全国学力・学習状況等の結果から、「早寝・早起き・朝ごはん」をキャッチフレーズに生活習慣を見直し、学習習慣の定着を目的として、生活リズムチェックシートを使うことを推奨しています。そこで、本校もそれに対応して、それに準じたものを各学年で使用します。

〈各種講演会・学校行事の充実について〉

本校では、今年度も全校生徒を対象とした講演会を行う予定です。性教育に関わる研修、ネットモラルなど、内容を更に充実させて、継続して実施します。また、コロナの影響も少なくなったことから、学校行事もさらに充実させていこうと考えております。



【全校生徒体育館に集っての新入生歓迎会】

〈各種研修への参加に御理解を〉

札幌市では初任者研修をはじめ、教職経験に応じた研修や教育課程、ICT に関わる研修など、教職員の資質向上や教育現場の変化に対応するための研修を必須としています。本校でもこれらの研修に参加する教職員が多数おります。研修に参加の際には生徒や保護者の皆様にも御迷惑をおかけすることがあるかと思いますが御理解のほどよろしくお願いいたします。

〈東月寒中ガイドについて〉

東月寒中学校の仕組や取組が一目でわかるように作成しました。ぜひ御活用ください。